

色彩だより

中四国支部編

NO,9

2026. 3 月

今回2月11日(水・祝)に行われた、中四国支部講習会の内容をお伝えさせていただきます。

「治療パターンの統一と感性の向上」

パワーテストとは

簡単に説明すると対象物に対して、筋肉の置換・緊張を、マイナスかプラスかを判断する方法

二人法と一人法がありますが、このパワーテストを習得するには、繰り返しの練習が必要となる

五感と第六感とは

「五感」

→ 目、耳、舌、鼻、皮膚を通して生じる五つの感覚

「第六感」

→ 物事の本質を直感的に感じとる心の働き

勘やインスピレーションのようなもの

無意識的、無自覚的、直感的、情報統合的にくらす印象評価判断能力

感性とは

「豊かな感性」や「鋭い感性」

→ 創造性という意味も含まれる

単なる受動的な能力ではなく、むしろ何らかの能動性をもっている

感性は単に外界からの情報をキャッチするだけの受動的な能力ではなく、

環境との関わりの中の自己の存在を創り出してゆく能動的、創造的な能力となる

感性の考え方

情報収集に必要なことは「目的」を持つこと

※目的を持つことにより、逆に情報の方が自分たちのところにやってくる

※人間は理性ではなく、感性の生き物である

近年、理性の教育が大切にされてしまい、
感性の教育がおろそかにされてしまったのでは？

感性を磨く方法

今後の治療は知識、情報、技術面では差が無くなる
「違い」を出すのは「感性」である
感性を大切にし、感性を磨くことが大事

「第六感（感性）」を研ぎ澄ますことができる訓練

→「波動的エネルギー」を自らの意思でコントロール出来るように訓練すること
※そのときに生まれるエネルギーは、精神を研ぎ澄まし診断能力を強化する

感性を高めるには自分にあった場所を作ること → 瞑想

瞑想の方法

最初は無理せず心を静め数分ぐらいから始めてみる
宇宙のエネルギー（例えば天から力のある銀の雨）と地球のエネルギーを
融合させてチャクラをめぐるように3回（奇数回数）意識すると同時に腹式呼吸で
気が充満すると筋肉が緩む感じになる
瞑想後にテロメアを測るとかなり上がってくる

判断基準とは

0.2秒以内の判断が大切
※どちらか迷う人 → 無理矢理、頭で操作

瞬間に反応が出るのが正しい

感性で判断 → 0.1秒 ※頭で理解するのではない

記憶で判断 → 0.2秒以上 例：投げた物をよける判断 → 0.4秒以上

万事、物事の判断の遅い人 → 30秒かかることも・・・

波動的生命体とは

身体に不自然な波長が波動的生命体（霊障）

波動的生命体の寄生現象

※場のエネルギーの乱れ（例：毎日の不平不満や愚痴）は感性が磨かれた人へ影響

気の乱れを感じるのは筋肉
不定愁訴や量子波（カラー）

波長としての生命体を感じとろうと思った瞬間に、その存在を確認することが
できれば筋緊張が起こる
正しい診断のためには、ただ無意識にすること
※疑ったり信じたりせず純粹であること
※頭で考えない → 感性

感性が弱い人への対処

松果体石灰化・松果体活性化・同調波阻止パワーなどの探索棒か、
カラーを合谷に貼ってみること

二人法と一人法について

二人法とは

→ 2人で適度な力（疲れない程度のOリング）でお互い引く

一人法とは

→ 此は感覚を掴む方法に色々な形が存在する
どんな形でも土（プラスマイナス）が解ればそれを使って練習する
何回も練習して確率を上げる
慣れてきたら探索棒を隠してカラーで当ててみる

探索棒の選び方

選ばれた探索棒の中より反応が強いものを貼付し使用する
比べる方法として

→ 探索棒の一つを患者の身体に置く、もう一つを術者が持ちながら
パワーテストで反応を診て OPEN なら術者の探索棒が優位となる
反対の場合は患者に置いた方が優位となる
何本も出た場合は優位診断をして絞っていく

ツボについて

治療で使用するツボに関しては、ツボマップもしくは経絡ツボガイドを
参考にさせていただくとわかりやすい

もう一つの方法は探索棒を持ってパワーテストでツボを探していく
反応の有るところに貼っていく
そのとき患部が解れば、そこを触れた状態で反応点を探すこともできる

新しいカラーについて

この新しいカラーの使い所としてブラックホールシャドウの反応がどのような形で
使用できるかを検討したところ

基本穴に貼ると身体全体が温まり、痛みと併用するとより回復が早いなど
血行作用が良くなることが確認されている

講習会の様子

